

極楽寺だより No. 84

お念仏のふるさと浄土宗



白雲山
来迎院

極楽寺

西暦:2026年

佛歴:2569年

開創:449年(1577年開創)

浄土宗鎮西派

浄心会

(写経とお念仏の会) 通常毎月第2土曜日10時から

(4 / 11) ・ (5 / 9) ・ (6 / 13) ・ (7 / 11)



宗祖法然上人 815回忌

御忌法要

4月26日(日曜日)

午前10時から

三原・広福寺住職

講師 別府 信道上人

御忌(ぎよき)は、阿弥陀仏(阿弥陀如来)を一心に念じ、南無阿弥陀仏とお称えするお念仏の教えをお示しくださり、私たちに極楽浄土への道をお開きくださった、浄土宗の宗祖・法然上人のご恩に感謝し、そのお徳を偲ぶ大切な法要でございます。

本年は、法然上人の八百十五回忌にあたり、あらためてお念仏のみ教えの尊さを味わわせていただくご縁でございます。また当日は、お悟りを開かれ、その道を示されたお釈迦様のご誕生をお祝いする「花まつり」もあわせてお勤めいたします。お釈迦様がご誕生の際、天より甘露の雨が降り注いだと伝えられておりますことにちなみ、観音堂前に花御堂をお飾りし、誕生仏に甘茶をおかけしてお祝いいたします。どうぞ皆さまも甘茶をおかけいただき、ご参拝ください。どうぞ皆様お揃いでご参拝くださいますようお願い申し上げます。

※法要後、極楽寺護持会の檀家総会を行いますので、ご参加をどうぞお願いいたします。



護持会費納入のお願い(前期分)

檀信徒の皆様には、平素より何かと極楽寺の運営にご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、令和8年度前期分の護持会費(6,000円)につきまして、御忌法要の折にご納入くださいますようお願い申し上げます。

当日は、緑色の護持会費用封筒を配布いたしますので、必ず檀家様ご本人様にて封筒へお納めいただき、釣銭のないようご準備のうえご納入ください。

なお、やむを得ず当日ご参拝いただけない場合は、総代・世話方の方へお託しいただくか、お振込みにてお納めください。お振込みの場合は、下記口座へ9月30日(水)までをお願いいたします。

※今回、護持会費用の緑色の封筒がお手元に届いていない方は、すでに前年に今回分をお納めいただいている方、またはお振込みにてご納入の方です。

※振込の方は緑色の封筒は各自での確認用にお使いください。

(振込口座)福山市農協瀬戸支店 支店番号8047-602

口座番号2216079 極楽寺護持会 鶴山豊教

護持会費納入に関する変更について

令和四年より、以下のとおり取り扱いを変更しております。

護持会費をご納入いただいた方には、振込・当日納入いずれの場合も、必ず領収書をお渡しいたします。

なお、事前にお振込みのうえ法要にご参拝の方は、トラブル防止のため振込明細書をご持参くださいますようお願い申し上げます。

領収書の発行により、ご納入の確認が明確となり、相互の行き違い防止にもつながります。

白雲殿年会費納入のお願い

本堂内納骨堂をご利用の方は年間護持協力金ご納入をお願い致します。

極楽寺護持会費とは扱いが異なりますので納骨堂年会費口座へお振込みをお願い致します。

※ご利用の方にはお手紙を同封しています

発行元：720-0838 広島県福山市瀬戸町山北740

電話：(084)951-2178

FAX：084-999-1577

携帯080-3902-0030 (24時間対応)

E-mail：fukuyamagokurakuji2178@gmail.com

LINE：@633aurbd(IDが変更になりました)(ご登録お待ちしております)

大師号に見る法然上人のご遺徳

浄土宗の開祖・法然上人は、私たちは親しみを込めて「法然上人」とお呼びしておりますが、実は朝廷より「大師号」を賜っていることは、あまり知られていないかもしれません。大師号とは、その功績を称え、特に優れた僧侶に贈られる尊い称号です。法然上人は、江戸時代の元禄十年（1697年）、東山天皇より「円光大師（えんこうだいし）」の号を賜りました。その後も上人のご遺徳を偲び、「東漸大師」「慧成大師」「弘覚大師」「慈教大師」「明照大師」「和順大師」など、幾度にもわたって大師号が追贈され、近年では八百回忌の際に「法爾大師」を賜っています。これらは御忌会にあわせて、おおよそ五十年ごとに下賜され、時代を越えて、上人のご遺徳が今に伝えられてきました。

最初に賜った「円光大師」の「円光」とは、欠けることのない丸い光、すなわち阿弥陀さまの光明をあらわします。その光明のように、法然上人のお念仏の教えは、広く人々を導いてきました。私たちは日頃「法然上人」とお呼びしておりますが、その背景にあるご功績を、あらためて心に留めたいものです。そして何より大切なことは、その称号にとどまるのではなく、上人が告示くださった南無阿弥陀仏のお念仏を日々お称えさせていただくことです。法然上人のご恩に思いをいたしながら、ともに南無阿弥陀仏とお念仏をお称えしてまいりたいものです。そしてご恩を偲ぶ大切なご縁が御忌法要です。御忌法要を通して、あらためて上人のみ教えにふれさせていただきたいものです



くらしに生きる 仏教のことば 其の1

愛嬌・愛想

「なに、それがかえってご愛嬌だ」と言うように、少しの失敗や無礼も、かえってその場の雰囲気や和らげ、可愛らしく憎めないさまを「愛嬌」といいます。

この「愛嬌」は、もともと仏教語で「愛敬（あいぎょう）」と書きます。仏や菩薩のお姿が、穏やかで慈悲に満ち、人々が思わず敬い、慕わずにはいられない相であることを「愛敬相（あいぎょうそう）」と申します。

また、「あの人は愛想がよい」といったときの「愛想」も、本来は「愛相」と書き、これも「愛敬相」に由来する言葉です。

利他の心をもつ人には自然と同情心が備わり、そのやさしさは言葉や表情となってあらわれます。人に接する際、思いやりのこもった言葉（愛語）をもって接する人は、おのずと愛想にも富むようになります。

ただし、「愛想笑い」のように、人の機嫌をとるための振る舞いが過ぎると阿諛追従（あゆついしょう）（※必要以上に相手にへつらうこと）となり、かえって軽んじられることもあります。愛嬌も愛想も、ほどよく大切にしたいものです。



彼岸法要御礼

三月二十二日、春の彼岸法要をお勤めいたしました。

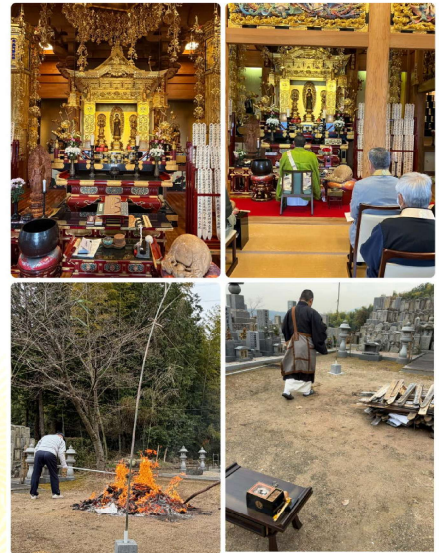
法要では『父母恩重経』をお勤めし、塔婆回向をおこないました。

あわせて、観音菩薩の御札（護符）祈願も執り行いました。

また、午後からは浄梵式（お焚き上げ）をおこない、皆様よりお預かりしたお札やお守りなどを、心を込めてお焚き上げいたしました。

ご参拝くださいました皆様に、心より御礼申し上げます。

また、前日の清掃および準備に際し、ご協力を賜りました皆様にも、厚く御礼申し上げます。



本堂内納骨堂「白雲殿」のご案内

本堂の阿弥陀さまのもとに納骨堂「白雲殿」を設けております。近年、「お墓を建てることは難しいけれど、きちんと供養はしたい」「子どもに負担をかけたくない」「夫婦だけなので将来が心配」・・・そのようなお声を多くいただくようになりました。白雲殿は、本堂内にある全天候型の室内納骨堂です。

雨の日も、暑い日も寒い日も、安心してお参りいただけます。

そして何より——阿弥陀さまをお祀りする本堂の中で、日々のお勤めとともにご回向を重ねてまいります。遠くの場所ではなく、極楽寺の本堂という「中心」で永代にわたり責任をもってお守りいたします。

◆費用について（檀信徒）

1霊位 20万円より・2霊位 40万円より

※年間護持協力金 5,000円（任意）

（※既にご契約の方は、契約時の金額となります。）

詳しくはお気軽にお尋ねください。



極楽寺役員さん変更のお知らせ

◎本年3月まで神村地区を担当だった岡田隆直（岡田秀子）さんより新年度（4月）より岡田誠二さんへ交代となります。

お詫びとお知らせ

このたび法事ご案内はがきにおいて郵便料金が不足し、檀信徒の皆様にご負担をおかけいたしましたこと、誠に申し訳ございませんでした。今後は確認に十分留意してまいります。